

第12分科会

「子ども達にときめく心としなやかに生活する力を～ページを開くと広がる豊かな世界～」 松江市立中央幼稚園 発表者 教諭 藤原かおり



中央幼稚園では、「子ども達にときめく心としなやかに生活する力を」を研究主題とし、絵本を窓口として実践研究に取り組んでいる。その中で、

①絵本と共にある園生活

- ・子ども達的心情や意欲が豊かに育つように生活の中での絵本との出会いを大切にする。
- ・園内の絵本コーナーの環境を工夫し、子ども達が絵本に目と心に向けられるようにする。

②保護者や地域との連携

- ・読み聞かせボランティアとの交流を深める。
- ・保護者と絵本の楽しさを共有していくための手立てを工夫する。
- ・近隣の図書施設や小学校との連携をする。

の2つの柱の下、「わくわくどきどきする世界に誘いかけてくれる」ことを絵本の良さと捉え、その良さから、友達と気持ちを共有する経験やイメージを豊かに広げることができるような働きかけを意図的に仕組み、子ども達に「豊かな世界」への育ちを促す取組が多くみられ、とても参考になる発表となった。

第12分科会

「幼児期の絵本は心の種」 出雲市立高松幼稚園 発表者 園長 三浦伊久子



高松幼稚園では、

①絵本とふれあう活動のあり方

- ・絵本とじっくりかかわることのできる環境の構成の工夫
- ・絵本の読み聞かせの継続と日常化をめざす工夫

②共に育ち合う家庭や地域との連携

- ・親子読書の奨励
- ・絵本の読み聞かせの地域人材活用

を視点として、様々な教育活動に取り組まれている。

中でも、絵本と「じっくりかかわる」とは、具体的にどういった活動があり、それが、どのように子ども達の「心の種」となって、子ども達的心情や力を育てていくのか、ていねいな実践の事例で説明されていました。

絵本の読み聞かせから心が安定していった子どもの事例、子ども達の絵本とのかかわりの中から自然に生み出された心の溜め込みを表現した事例、自然や季節を感じながら絵本の登場人物に心を通わせた事例等、一つ一つの実践から、教師の深い願いが伝わってきて、とても参考となりました。